

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名	多機能型療育サポート かばの（児童発達支援）					公表日	2026年 3月 1日	
						利用児童数:39名	回収数:26件	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	1				法令の約2～3倍のスペースを確保しています。また、個々のエリアでの活動時間を調整するなどして、小集団の中で集中しやすい環境を整えています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24			2		法令を遵守し、保育士と心理士の児童、福祉分野での経験と専門性を備えたスタッフ配置に努めています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26					パーテーションや家具などを活用して活動エリアが明確に伝わるよう配慮しています。また、建物はバリアフリーに整備されており、情報を視覚化してお伝えするよう努めています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26					毎朝、次亜塩素酸を使用した清掃と1療育ごとに簡単な消毒と換気を実施しています。また、子どもたちの活動や状態に合わせて、療育に効果的な空間づくりに努めています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24	1		1		遠城寺式発達検査やVineland II（適応行動尺度）を活用し、療育計画を立てたうえで、実際の療育でアセスメントをとりながら、その子の理解に応じた課題の提供を行っています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24			2		支援プログラムについては、すでに平成会のホームページに公表しております。内容をご確認いただけるよう、今後も必要な情報を分かりやすく掲載してまいります。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26					広義なアセスメント（保護者からの聞き取り）と狭義なアセスメント（発達検査等）を組み合わせ、ニーズの把握と児童の行動観察の結果も踏まえた支援計画の作成をしています。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25				1	支援計画にガイドラインの項目を設定し、その項目を意識した取り組み内容を支援計画に記載し、具体的な療育の実施をしています。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1			1	支援計画の振り返り・更新時期には必ず会議を実施し、できていないことよりも、芽生えている部分に着目し、本人ができることを増やして自己肯定感を高める視点で療育を進めています。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23				3	特性や成長の変化に対応したプログラムを提供しています。変更や中止の練習も兼ねてプログラムの固定化を防ぐ工夫をしています。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	16	1	5	4		事業所として交流活動等の実績はありませんが、法人内の行事イベントをご案内しております。これからも定期的に情報発信をさせていただきます。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	26					契約時に説明をさせていただいております。また、玄関先に規定類一覧を置き、いつでも閲覧できるようにしています。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	25	1				支援計画書を作成し、保護者に説明のうえ同意のサインをいただいております。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24				2	保護者様のご希望に応じて、個別・グループでのペアレント・トレーニングを実施しています。必要があればいつでもお申し付けください。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	23	2	1		・療育日に細かいやりとりができないことになっているので、タイムリーな出来事の報告などは遠慮してづらい。	療育当日は準備等の関係で、支援内容を端的にお伝えすることが多くなっております。ご相談やタイムリーな出来事については、児童発達支援管理責任者や専門職を通じて対応しております。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23	2		1	・半年ごとのモニタリング、面談以外にも、その都度相談したい時には面談をして下さり、具体的な助言がある	随時相談へ対応できる点を評価いただきありがとうございます。今後も日々の不安や気になる点に応じた個別面談の機会を柔軟に設け、よりの確な助言が行えるよう体制を整えていきます。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24	1		1		お子さんを軸に考えた療育方針を大切にしています。ご家族からの相談やご希望にも丁寧に耳を傾け、よりよい支援につながる運営に努めてまいります。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	5	1	5		今年度は保護者同士のつながりをつくる目的で茶話会を開催し、意見交換を行うことができてきました。今後も参加しやすい時間帯や形式を検討しながら、交流の機会を継続していきます。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	23			3		今後も相談しやすい体制づくりを進め、必要に応じて周知方法の改善にも取り組んでいきます。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24			2		その日に取り組む教材を視覚的に分かりやすく示すなど、お子さんの特性に合わせた伝わりやすい方法を心がけています。	
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	21	1		4		活動内容は平成会ホームページにて随時掲載しています。自己評価については年度ごとの結果を分かりやすく掲示し、保護者の皆様に必要な情報が適切に届くよう改善を進めていきます。	
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24			2		職員への守秘義務、外部への情報提供は保護者の要望又は同意に基づくことを徹底し、書類などは鍵付きロッカーへの保管しています。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2		5		マニュアルに沿った定期的な訓練（不審者対応・応急手当など）を実施しています。必要に応じてマニュアル閲覧の案内を行い、災害・緊急時に速やかに対応できるよう体制強化に努めます。	
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26					火災避難訓練を年2回、災害時避難訓練を年1回実施しています。実施日にご利用のある方のみご参加いただいております。	
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16			10		・送迎時、出入り口から他のお子さんが飛び出して危険に思う事があるので、何から対策してもらえたらより安全な環境になるのではないかとと思う事があります。	送迎時の安全面について、具体的な状況の把握が難しいものの、療育終了後にお子さんが出入口付近に集まることで危険が生じる可能性があると考え、対応を検討しました。対策として、療育終了前に保護者の方には施設内でお待ちいただく運用とし、文書にて周知を行いました。
	26 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			5		軽微な怪我についても、その都度処置内容と合わせて丁寧にお知らせするよう努めています。今後も速やかな連絡と分かりやすい説明を徹底し、安心してご利用いただけるよう体制を維持していきます。	
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	25	1				登所の予定やスケジュールの急な変更など、変化が苦手なお子さんについては、事前にお伝えして安心できるような配慮に努めています。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	25	1				子どもたちが飽きずに毎日楽しく通えるような活動を日々職員間で話し合っています。遊びを中心にさまざまな課題への療育効果が出るよう努めて参ります。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	24	1		1		子どもの最善の利益を尊重し、安心して楽しく通える事業所づくりを職員一同で進めてまいります。	